

なつた

編集・発行
成田市教育委員会 / 〒286-8585 花崎町760番地 ☎22-1111大代表



学校や地域でのさまざまな活動を通じて

いっしょにやってみよう！

今回は、豆記者のみなさんに「いっしょにやろうよ！」(学校や地域でのさまざまな活動を通して)というテーマで記事を書いてもらいました。交流を広げ、さまざまな活動に取り組みの様子を紹介します。

将来のために！

「おはついでにいます」わたした



ちの職場体験は、先生方や園児たちへのあいさつから始まりました。わたしが行ったのは、保育園。園児たちと仲良くなるのは、あつという間でしたが、保育園の仕事に慣れるまでは少し苦勞しました。二日目は園児たちと園外保育へ。園児たちと一緒に手をつないで歩いたり、どんぐりを拾ったりと幼いころに戻った気がしました。

わたしはこの体験の中で、仕事をする喜びと子どもたちのかわいらしさを改めて感じる事ができ、とても勉強になりました。

「また、このような体験ができたら…」と思います。
久住中 長谷川 幸代

長寿会の方との交流

わたしたちの東小学校では、地域の方々や長寿会の方々との交流する機会が四季を通じてあります。11月2日にも、ふれあいグラウンドゴルフ大会があり、楽しいひとときを過ごすことができました。長寿会の方々には、わたしたちにグラウンドゴルフのやり方をいねいに教えてくれました。また、飲み物を飲みながら競争体験の話も聞かせてくれました。

もうすぐ、長寿会の方々へお礼の会である「もみじまつり」があります。これから、いろいろな交流活動を通して地域の伝統を学び、郷土にほこりを持ち続けたいと思います。

東小 長谷川 夏生



野球から得た仲間

ほくは、今年の2月に吾妻スタースに入りました。吾妻スタースは創部25年の伝統のある野球チームです。毎週土・日曜日には、練習や試合があるので楽しみにしています。また、チームの仲間との交流もできます。野球はチームプレーなので、エラが続きたり、思うように打てなかつたりすると落ち込んでしま



います。そんな時、「気にするな
よ」「つすればいいよ」といつ仲
間の言葉が、ぼくにがんばる力を
与えてくれます。

つらいこともあるけど、野球を
始めて友達が増えたことが何より
うれしいです。

吾妻小 石井 慎介

疑似体験を通して

「お年寄りの人たちは歩いたり、
動いたりするのも大変なんだ」ほ
くは、ひきやひじ、足音に重りを
付け、視界がぼやけるめがねをか
けて、廊下や階段を歩く体験をし
てみて初めてわかりました。特に
階段が怖かったです。視界はぼや

け、足も重いのでとても疲れまし
た。

ぼくは、まだ力も体力もあるけ
ど、年をとってくると体力も衰え
てくるから、ぼくたちよりずっと
大変なんだと思います。

だからお年寄りの人たちには
これからも、もっと優しくしてあ
げたいと思います。

平成小 岩崎 翔平



たくさんさんの経験を 教えてください

10月31日、本城小で収穫祭が開
催されました。これは、地域の
方々を招待する児童会行事で、さ
つまいも味わったり、ゲームを
楽しんだりしました。

昔の遊びのコーナーで活躍した
のは、たくさんさんの経験を積んでい
るお年寄りの方々でした。わたし
は友達のおいちゃんに、ベーゴ
マの返し方を教えていただきまし
た。ひもを水にひたして巻くコツ
を知り、三回目は台の上に乗せ
ることができ、大感激しました。
卒業までに、すいとん作りやケ
ラウンドゴルフも教えていただき
予定ですが、今からとても楽しみ
です。

本城小 鈴木 優香



第一回「豊陵祭」

11月12日に記念すべき第一回
「豊陵祭」が開催されました。



豊陵祭とは、あらゆる文化活動
と総合学習で調べた研究について
発表する文化祭のことです。地域
にも公開され、保護者や老人クラ
ブの方々、小学生を招いて盛大に
行われました。

総合学習の発表では、お年寄りの
の知恵を借りた薬草の研究や、各
家庭にアンケートを依頼した米の
研究などたくさんさんの発表がありま
した。どのグループも地域に溶け
込んだ活動をすることができまし
た。

来年はさらに発展させて、実り
多い豊陵祭になるようにがんばり
ます。

豊住中 石塚 良平

「日光展」 修学旅行そして

10月17日、わたしたち玉造小学
校の6年生は、栃木県の日光市に
修学旅行に行ってきました。東照
宮の彫刻の美しさや体験学習の楽
しさ、自然散策で味わった大自然
のすばらしさなど感動することの
多い一日間でした。

この旅行で学んだことや体験し
たことを下級生にも伝えたいとい
うことになり、「日光展」を開く
ことになりました。

滝の大きさや水の速さについ
て、下級生にわかるように説明す
るのは難しいことです。でも、み
んなの気持ちをひとつにしてがん
ばっています。

玉造小 渡部 咲希



長寿園を訪問して

わたしたちの学校では、年三回、長寿園を訪問しています。そして、お年寄りの方と一緒に体を動かす遊びを通して、交流をしています。

わたしたち6年生は、9月に1年生とともに長寿園を訪問しました。4グループに分かれて、ボード遊びや風船ハレー、糸巻を競馬や手遊びなどのゲームをして楽しみました。ゲームはお年寄りの方



にとってリハビリのひとつだそうです。初めて参加した1年生もお年寄りの方に「がんばって」と声を掛け、取りやすいボールを打つてあげたりもしました。お年寄りの方のうれしそうな顔がとても印象的でした。

豊住小 伊藤 友美

一人ひとりの力が大きな力に

ぼくたちの加良部小では、月一回、学級ごとに奉仕活動を行っています。モットーは

「みんなの力で明るくきれいな学校にしよう」です。話し合っただけの活動場所を校内地図に示し、いざ開始。このほかに、4年生が年三回行うサイクル大作戦にも全校で協力しています。

最近では、校内に「ボランティアした隊」が誕生し、ユニセフ募金活動に取り組んでいます。朝の昇降口には、「お

はようございます」と元気な声があふれています。また、落ち葉のシーズンには、みんなで協力して校内をきれいにしています。

加良部小 高橋 将道



根木名川の環境を守ろう

今、ぼくたちの付属小学校では総合学習の時間に根木名川について学習しています。

新妻橋から志茂橋まで歩いた時は、多くの鳥や魚を見つけたこと

ができました。でも、こみや空き缶も捨てられていました。根木名



心の交流 いつまでも

7月2日、6年生と保護者のみなさん、地域の老人会である豊令会の方々と交流会が行われました。

前半は学校の外周花だんに苗植えをしました。後半のお楽しみ会では、ぼくたちが手話を使って「小さな世界」という歌を、豊令会の方々には心温まる「ふるさと」という歌を、そして保護者のみなさんは、振り付きで「ヤングマン」という歌をそれぞれ熱唱しました。また、手遊びを取り入れた「茶つみ」を全員で歌った時には、心と心が結ば

川では、地域の方々がこみや空き缶のこみや空き缶を拾っているそうです。川にこみや空き缶を捨てないことは大切なマナーだと思います。これからも、ぼくたちは根木名川の自然や環境を守る活動を続けようと考えています。みなさんと一緒にぜひ考えてみてください。みんなで、きれいで明るい成田にしていきましょう。

成田高校付属小 安藤 亨

れみんながひとつになっていました。お互いに、エネルギーを与え合っただけならいい心の交流をいつまでも続けていきたいです。

向台小 篠塚 卓海



みんなて結ぶ合唱



10月31日 吾妻中で合唱コンクールが開催されました。わたしたち2年B組も団結し、本番に向けて練習してきました。そして、当日、なんと最優秀賞をいただくことができましたが、今回で最後の出場となる先輩たちを思い、心苦しくもなりました。

でも11月11日、複雑な気持ちを持ち越え、学校の代表として二部会の音楽祭に出場しました。

この日、わたしたち一人ひとりは今までのうれしかった気持ちを

や悲しかった気持ちをすべて、歌に込めることができました。そして、見えない大きな輪で結ばれた気がしました。「このために合唱はあるんだ」と思いました。

吾妻中 小田代 真澄

貴重な茶の湯体験

ぼくたちは、社会科の歴史学習で「茶の湯」の体験をしました。三里塚地区にお住まいの茶道の先生に、茶の湯の作法を教えていただきました。お茶の歴史や正座の仕方、手の動きなど難しいことが



たくさんありました。着物の姿の先生方に優しくおもしろく教えていただきました。

ぼくはこの体験を通して、今も残る室町文化をそんぶんに味わうことができました。そして、近所にお住まいの茶の湯の先生方とも親しくなることができました。

またお会いした時には、一緒に茶道や学校での出来事について話してみたいと思っています。

三里塚小 石井 翔太

お年寄りをかこむ会に参加して

ぼくたちの中郷小には、毎年「お年寄りをかこむ会」という行事があります。これは、中郷小やPTA、中郷地区福祉協議会が協力して、お年寄りや地域の方々、子どもたちが楽しく交流することを目的として開かれます。

今年、11月1日の土曜日に第24回が行われました。ぼくたちは劇や合奏を、お年寄りや地域の方々は踊りや詩吟、大正琴、下座連の演奏などを発表しました。昼食は役員のお母さん方が手作りのませじ飯を作ってくれました。最後は、みんなて成田市民音頭を踊



り、「一日を楽しく過ごすことができました。」

中郷小 田中 遼

心をひとつに

毎年、五道中では合唱コンクールを開催しています。合唱コンクールは、全校生徒がクラスごとに歌う曲を決め、文化祭で発表するものです。この日のため、各クラスは最優秀賞を目指して、音楽の授業中や放課後、また、朝早くから練習に励んできました。

合唱コンクールは、団結する大切さについて学ぶことができる良い機会だと思っています。最初はぶま

じめだった人も「がんばって声を出そう」というみんなの呼びかけに、少しずつ応えてくれるようになります。

今年も目標に向かって、クラスの心をひとつにすることができ、貴重な体験をすることができました。

玉造中 根本 直明



あとがき

学校行事、体験学習、地域との交わりなどを通して、さまざまな交流の場があることがわかりました。これからも、多くの人々と交流の輪を広げていってほしいと思います。